

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭61-153635

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)9月24日

B 60 N 1/10

C-7332-3B

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 自動車のリヤシート

⑯ 実 願 昭60-37337

⑰ 出 願 昭60(1985)3月15日

⑱ 考 案 者 井 嶋 隆 芳 浜松市神原町1057-3

⑲ 考 案 者 鈴 木 昌 宏 浜松市植松町77-9

⑳ 考 案 者 新 村 春 樹 静岡県浜名郡可美村増桑1648-4 鈴明寮

㉑ 出 願 人 鈴木自動車工業株式会社 静岡県浜名郡可美村高塚300番地

㉒ 代 理 人 弁理士 奥山 尚男 外2名

㉓ 実用新案登録請求の範囲

- (1) フロントシートの後部フロアに凹部を有する自動車のリヤシートにおいて、シートバックを支持すると共にリヤシートクッションの後端部を支持するステアを回動可能に車体に軸支し、かつ上記リヤシートクッションの先端部に折り畳み可能なシートレッグを設け、該シートレッグを折り畳んだとき、上記リヤシートクッションが上記凹部内に収納されるように上記ステアの長さおよび取り付け位置を設定したことを特徴とする自動車のリヤシート。
- (2) 上記シートレッグは、上端部を回動可能にリヤシートクッションに支持されるとともに、下端部を自由端に形成され、該自由端の前方への動きを規制するストッパを上記凹部内に設けたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第(1)項記載の自動車のリヤシート。
- (3) 上記シートバックに係止具を設け、該係止具に対応する係合手段を車体側面に装着したこと

を特徴とする実用新案登録請求の範囲第(1)項または第(2)項記載の自動車のリヤシート。

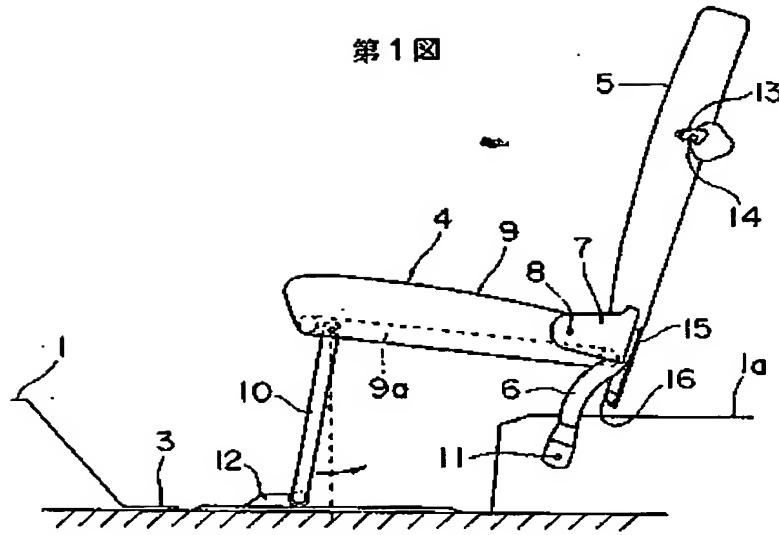
- (4) 上記シートバックの下端部に、上記リヤシートクッションを凹部内に収納したときの車体フロアとの間隔を閉塞するプレート設けたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第(3)項記載の自動車のリヤシート。

図面の簡単な説明

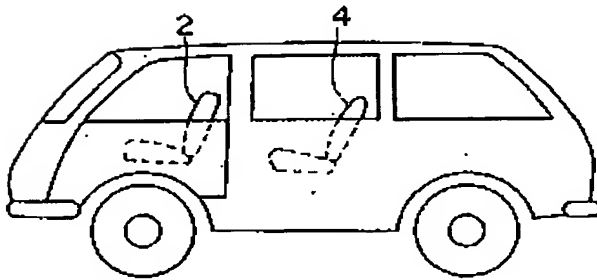
第1図は、本考案の一実施例による自動車のリヤシートを示す概念図、第2図は、ワンボックスタイプの車両を示す概念図、第3図および第4図は、リヤシートの収納順序を示す概念図である。

1, 1a……車体フロア、3……凹部、4……リヤシート、5……シートバック、6……ステア、7……ブラケット、9……リヤシートクッション、10……シートレッグ、12……ストッパ、13……係止具、14……係合手段、15……プレート。

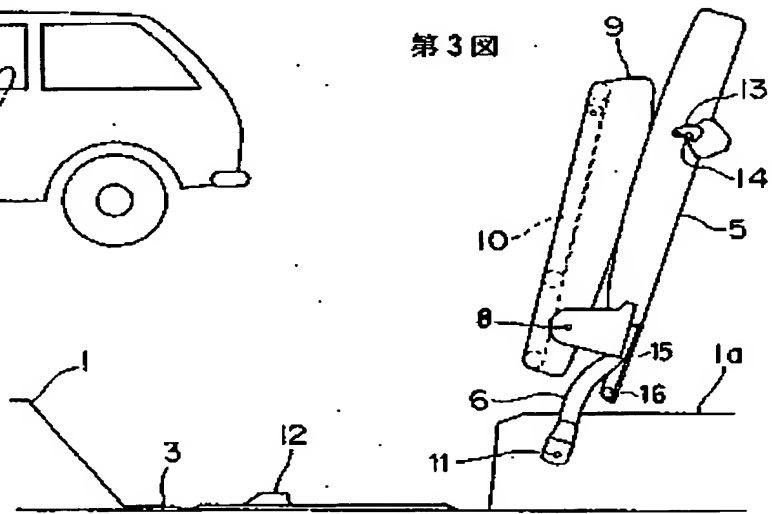
第1図



第2図



第3図



第4図

